

日本のふるさと。自給自足的循環社会

広報 京丹波 4

NO.174 2020.4.17 発行 TOWN KYOTAMBA



みずほ保育所 (20ページに掲載)

希望に満ちた
きらめく未来へ
第一歩

- 02 特集 令和2年度予算概要
- 06 第2期京丹波町
まち・ひと・しごと創生総合戦略
- 09 第2期京丹波町
子ども・子育て支援事業計画
- 12 令和2年度職員の配置
- 15 いきいき健康術
- 16 生涯学習通信 TOMORROW
- 19 新型コロナウイルス感染症について
まちの話
- 20

一般会計歳入歳出予算額

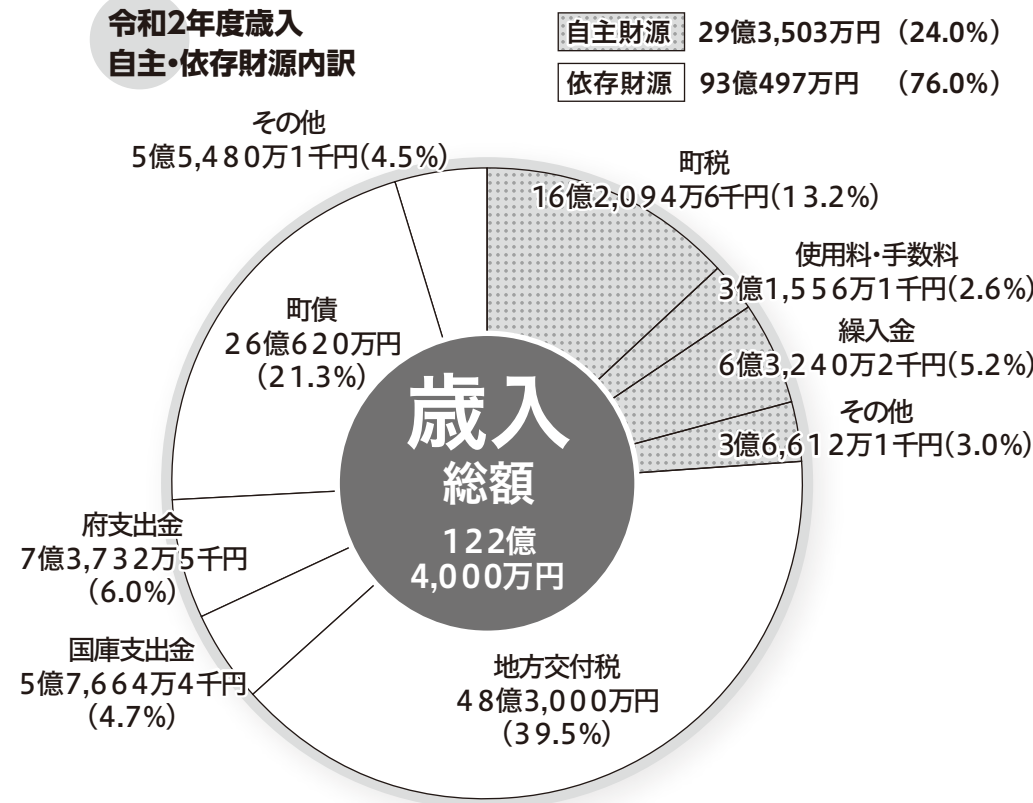
122億4,000万円

会計別
予算額一覧

会計名	今年度	前年度	増減額
一般会計	122億4,000万円	114億1,300万円	8億2,700万円
特別会計	54億9,486万5千円	54億6,417万4千円	△3,069万1千円
国民健康保険事業特別会計	17億9,630万円	18億3,900万円	△4,270万円
後期高齢者医療特別会計	2億6,290万9千円	2億4,315万9千円	1,975千円
介護保険事業特別会計（事業勘定）	21億4,870万円	21億3,629万9千円	1,240万1千円
介護保険事業特別会計（サービス事業勘定）	454万4千円	487万6千円	△33万2千円
介護保険事業特別会計（老人保健施設サービス勘定）	1億4,850万円	1億5,261万円	△411万円
下水道事業特別会計	9億9,120万円	9億5,910万円	3,210万円
土地取得特別会計	3万7千円	5万4千円	△1万7千円
育英資金給付事業特別会計	433万6千円	625万6千円	△192万円
町営バス運行事業特別会計	1億3,833万9千円	1億2,282万円	1,551万9千円
地方公営企業会計			
国保京丹波町病院事業会計（収益の収入）	10億4,100万円	10億1,520万円	2,580万円
国保京丹波町病院事業会計（収益の支出）	10億4,517万6千円	10億1,520万円	2,997万6千円
国保京丹波町病院事業会計（資本の収入）	3,624万6千円	43万1千円	3,581万5千円
国保京丹波町病院事業会計（資本の支出）	8,624万7千円	7,393万1千円	1,231万6千円
水道事業会計（収益の収入）	11億7,560万円	12億5,080万円	△7,520万円
水道事業会計（収益の支出）	11億6,980万円	12億4,240万円	△7,260万円
水道事業会計（資本の収入）	5億2,002万4千円	3億8,586万円	1億3,416万4千円
水道事業会計（資本の支出）	8億7,896万2千円	8億183万5千円	7,712万7千円

＊財産区会計を除く

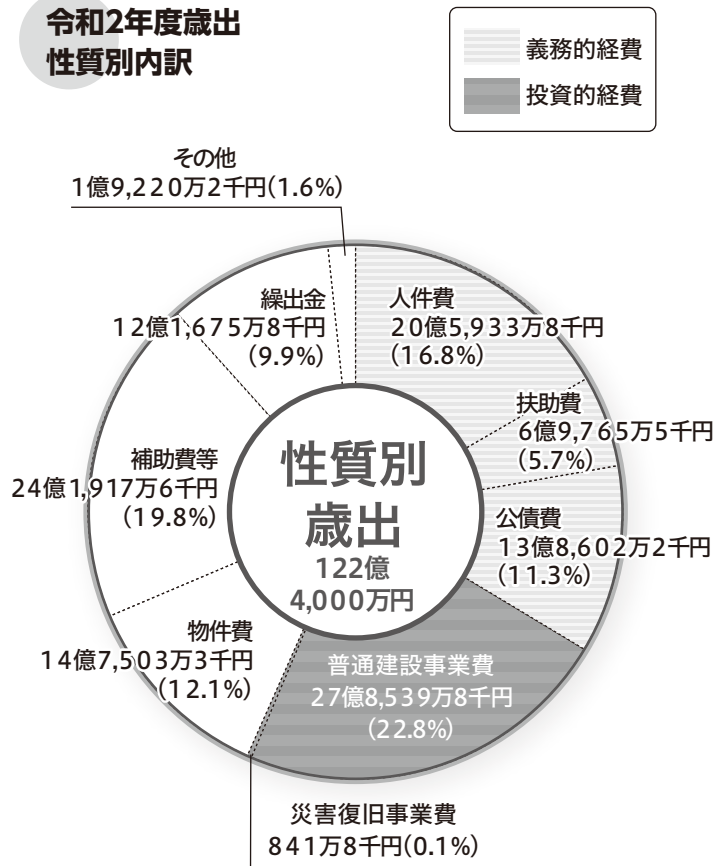
令和2年度歳入
自主・依存財源内訳



今年度の当初予算は新庁舎整備事業や認定こども園整備事業などにより、前年度当初に比べ7.2%の増で、最大の規模となりました。助け合いと活力ある健康の里づくりを基本方針に「町行政の公正化」、「環境整備」、「暮らしの安心・安定」、「子育て支援」、「産業振興」の5点を重点施策として取り組んでいきます。

また、平成28年度に策定した、まちづくり推進の指針となる「第2次京丹波町総合計画」や、令和元年度に策定した「第2期京丹波町まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、助け合いと活力ある健康の里づくりを進め、将来にわたって活気のあるまちづくりの実現を図ります。

令和2年度歳出
性質別内訳



歳入
町税は4.4%増を見込み、16億2,094万6千円を計上しています。地方交付税は、新たな費目「地域社会再生事業費」で増額が見込まれることから0.8%増の48億3,000万円を計上しています。町債は、新庁舎整備事業や認定こども園整備事業の本格化などに伴い、33.9%の大幅な増となり、26億620万円を計上しています。歳入歳出のバランスを図る財政調整基金からの繰入は24.5%の減となりました。

歳出
人件費や借入金を返済する公債費などの義務的経費は、前年度比2.7%増の41億4,301万5千円を計上しています。前年度に繰上償還を実施して、公債費は7.3%の減となりましたが、会計年度任用職員制度の施行などにより人件費が12.6%の増となったことが主な要因です。公共施設の整備など資本形成となる投資的経費は、新庁舎整備工事と認定こども園整備工事の実施などにより、39.6%の大幅な増加となっています。

環境整備

新庁舎の整備 14億2,078万1千円

防災機能やまちづくり機能を強化し、行政サービス機能の充実を図ることで、多様化・高度化する町民ニーズに対応します。令和3年8月末の完成に向けて工事を進めます。

和知支所の耐震化 5,556万5千円

耐震診断の結果に基づき耐震化工事を実施します。また、トイレを洋式化にするユニバーサルデザイン化などの必要な改修も実施します。

産業振興

農業振興の推進 3億6,082万8千円

令和2年度をAIやICTを活用するスマート農業元年と位置づけ、ラジコン草刈機を導入するなど新たな農業の普及拡大を図ります。

有害鳥獣対策事業 9,421万8千円

鳥獣被害の防止柵設置に対する支援や新規狩猟者免許取得助成、捕獲報奨金の支給など被害防止と捕獲の両面で対策を強化することに加え、令和2年度はサル対策に重点をおき、サルの行動調査把握やサル用防護柵などの対策を強化していきます。

林業振興の推進 2億966万7千円

新たな事業として、地域住民組織が管理する施設を、町内の工務店が京丹波町産木材を利用して整備する経費に対して助成を行う、地域産材利用拡大事業を実施するほか、林道などの生産基盤を整備し、後継者の育成と間伐の促進、間伐材、キノコ類などの多様な森林資源の有効活用を図り、森林の保全や育成と林業振興を推進します。

移住・定住対策 2,087万9千円

住民や地域が主体となった取り組みに対する支援や、空き家情報バンク制度の活用、移住相談会などにより、本町の魅力の発信や受け入れ態勢の整備を進め、移住や定住の人口の拡大を図ります。さらに、短期間の田舎暮らしが体験できる「お試し住宅」の整備や、振興会、集落単位の情報伝える「地域案内資料」の作成などを実施します。

消防防災体制の強化 3億8,393万3千円

原子力災害や自然災害などへの対応として、防護服などの原子力災害対策備品の整備や緊急備蓄物資の購入のほか、行政区単位などでの自主防災組織の結成を促進することで、防災力の強化を図り、安全で安心な暮らしができるまちづくりを推進していきます。

商工・観光振興の推進 1億8,175万9千円

大河ドラマ「麒麟がくる」の放送により、丹波エリアが注目されるとともに、道の駅「京丹波 味夢の里」に隣接して、民間事業者によるホテルが開業される令和2年度を「ターゲットイヤー」として、本町の魅力を広くPRし、まちのにぎわいづくりを進めていきます。また、まちの基幹産業の活性化と人材の地域定着を目的に、地場製品のコンパクト流通システムの拡充をはじめ、ふるさと納税を通じた地場製品の開発やプロモーションを実施していきます。

道路橋りょう整備の推進 4億4,721万5千円

安全確保や利便性の向上のため、道路や橋りょうの危険箇所の補修や修繕など適切な維持管理とともに、狭い箇所などの拡幅や改良工事を実施します。

スポーツ観光・振興の推進 3,507万5千円

さまざまなスポーツ活動を通じて、町民の健康づくりと交流機会の拡充を図ります。また、東京オリンピック・パラリンピックやワールドマスタースゲームズ2021を契機とした取り組みを通じ、交流人口の拡大や地域活性化を図っていきます。

助け合いと
活力ある
健康の里づくり
の推進

令和2年度予算の概要を
重点施策ごとに紹介します。

特集
令和2年度予算概要

暮らしの安心・安定

地域医療体制の確立推進と医師確保対策

3億4,111万6千円

町民の健康と安心を確保するため、国保京丹波町病院などの運営費や国民健康保険南丹病院組合への負担金を計上しています。地域医療の充実とともに、地域に必要な医療を安定して提供できるよう、常勤医師の確保に努めます。

高齢者・障害者等の安心安全対策

17億2,297万3千円

高齢者の事故防止対策として、町民の70歳以上の方を対象に、所有されている自動車への急発進抑制装置の取り付けに係る費用の一部を補助する制度を創設するなど、高齢者や障害者をはじめ、全ての人々が安心して快適に生活できるまちづくりを推進していきます。

健康増進の推進

8,674万円

健康増進事業としてゲートキーパーの研修を積極的に実施していくとともに、各種健康診査事業では新たに、胃がん検診のデジタル撮影を実施するなど、事業の充実を図ります。一人ひとりが生涯健康で安心して暮らせるまちの実現に向けて、乳幼児から高齢者までそれぞれの世代に応じた健康づくりを推進します。

町行政の公正化

町政懇談会「タウンミーティング」

57万2千円

対話を通じて行政に対する希望や意見の把握に努めるとともに、町政の情報発信を図ります。

子育て支援

子育て支援の推進 6億4,972万1千円

令和元年度に策定した第2期京丹波町子ども・子育て支援事業計画に基づいて、子どもの育ちと健全な育成を地域全体で支えることができる社会を目指します。発達支援事業では、町独自に専門職を配置し、児童の健やかな成長発達を支援するとともに、新たに思春期サポート事業を実施し、安心して子育てができる環境整備の構築を図ります。また、すべての就学前の子どもに対して、同じ環境のもとで教育・保育・子育てを提供する町立認定こども園の開設に向け、(仮称)たんばこども園新園舎の建設工事に取り組みます。

幼児教育・保育の充実 4億3,778万5千円

親子の交流事業の充実とあわせ、未就学家庭への個別訪問事業など子どもの育ちと子育て家庭の支援に努めます。幼児の心身の発達段階に応じた適切な教育や保育の提供を行うとともに、みずほ保育所とわちエンジェルの改修を年次的に実施し、安全で快適な保育環境を整備していきます。

学校教育の充実 4億5,961万4千円

「学校・家庭・地域総がかりで育む子育てから人づくり」を基本理念として、京丹波町のよさを生かした京丹波ならではの教育の実現に向けて、特色ある教育活動を推進していきます。

須知高校の活性化推進 252万円

京丹波町の将来を担う人材の育成や食、農を生かしたまちづくりを推進するため、須知高校の教育振興や町営バスの定期代などの支援を継続して実施します。

京丹波町 まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定

町では、このほど、「日本のふるさと。自給自足的循環社会●京丹波」を基本理念に、今後の町の人口減少対策が目指すべき方向性を示す「第2期京丹波町まち・ひと・しごと創生総合戦略」（第2期京丹波町創生戦略）を策定しました。



人口減少問題と向き合い策定へ

京丹波町では、平成27年に策定した「京丹波町人口ビジョン」で、目標人口を令和22年（2040）に1万人としています。この目標を達成するため、平成27年に「京丹波町創生戦略」を策定し、施策・事業を進めてきました。こうした取り組みはこれまで一定の成果を上げてきているものの、京丹波町の人口は着実に減少しています。このことから、今後のまちの人口減少対策が目指すべき方向性を示す次期計画の策定について意見を求めるため、令和元年10月31日、太田昇町長が京丹波町総合計画審議会（中西和之会長）へ諮問しました。審議会では、委員から出された意見や住民を対象に行ったアンケート調査の結果、広く意見を求めるパブリックコメントの意見などをもとに審議を重ね、3月10日、中西会長と山内英紀副会長が太田町長へ答申しました。町ではこの答申を受け、3月、令和2年度から令和6年度までを期間とする「第2期京丹波町創生戦略」を策定しました。



三つの新たな視点

1

だれもが活躍できる
地域社会の構築

2

人口減少へ適応する
まちづくり

3

地域の資源・魅力
活用による
U・I・Jターン促進

【基本目標1】

地域経済支援による **しごとづくり**

新規町内就業者数を
2015～2018年42人→
2020～2024年70人へ

パッケージの概要

若者の地域定着、地域内消費の促進などが求められている中、基幹産業である農林業を若い世代が安心して暮らしていける「産業」として再構築するとともに、町内企業への支援と域内経済循環の仕組みづくり、起業支援などを推進するなど、地域経済支援によるしごとづくりをめざします。

【基本目標3】

地域総がかりで育む子育てから **ひとづくり**

出生数を
2015～2018年252人→
2020～2024年400人へ

パッケージの概要

未来のまちづくりを担う子どもたちの存在は重要であることから、子育て支援の充実、将来にわたり郷土愛が持続する教育（学び）の機会の創出を推進するなど、地域総がかりで育む子育てからひとづくりをめざします。



目標人口の実現に向けて四つの基本目標と政策パッケージの概要

【基本目標2】

京丹波町への **ひとの流れづくり**

交流人口を
2015～2018年1,726.9万人→
2020～2024年2,000万人へ

パッケージの概要

活気のあるまちであり続けるためには、本町の中で多くの人々が交流し、地域の経済循環を生み出すことが重要です。そのため、「食」といえば京丹波であることを発信し、その魅力を通じて「京丹波町ファン」を増やすなど、京丹波町へのひとの流れづくりをめざします。

【基本目標4】

豊かな暮らしを持続可能にする **まちづくり**

自主防災組織を
2015～2019年2組織→2020～2024年5組織へ
まちづくり拠点数を
2015～2018年0設置→2020～2024年5設置へ

パッケージの概要

子どもからお年寄りまで、健やかで安心して暮らせるまちづくりが求められる中で、地域防災力の醸成と日常の危機意識の向上を図るなど、災害への備えに対する前向きな姿勢・機運を高めます。また、安心・安全なまちの形成や地域内のつながりを強化するとともに、豊かな自然環境の保全・活用などに取り組むなど、人口が減少しても、豊かな暮らしを持続可能にするまちづくりをめざします。

京丹波町子ども・子育て支援事業計画を策定

～子育てを みんなではぐくむ 地域の輪～

まちの将来を担う子どもたちが、健やかに成長するためのまちづくりを進めるため、町では、このほど、「第2期京丹波町子ども・子育て支援事業計画」を策定しました。

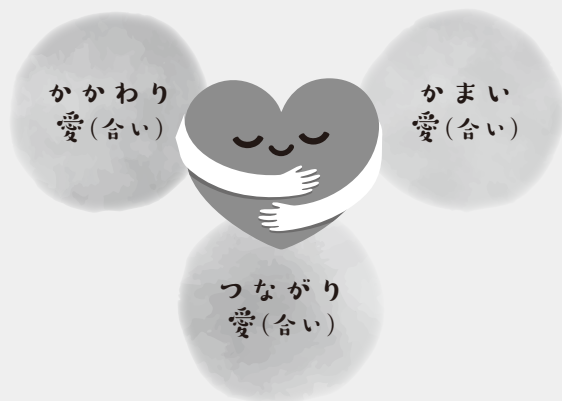
策 定 へ

京丹波町では、平成26年度に「京丹波町子ども・子育て支援事業計画」を策定し、次代を担う子どもたちの健やかな成長を見守り、はぐくんでいくためにさまざまな支援を進めてきました。引き続き、その取り組みを計画的に推進していくに当たり必要な次期計画を策定するため、太田昇町長が令和元年7月9日、京丹波町子ども・子育て審議会（大塚正広会長）へ諮問。審議会では、子育て家庭のニーズ調査や広く意見を求めるパブリックコメントを実施するとともに5回におよぶ審議を重ね、2月19日、大塚会長と佐藤明美副会長が太田町長へ答申しました。町ではこの答申を受け、3月に令和2年度から令和6年度までを期間とする「第2期京丹波町子ども・子育て支援事業計画」を策定しました。



子ども・子育てビジョン（基本理念）

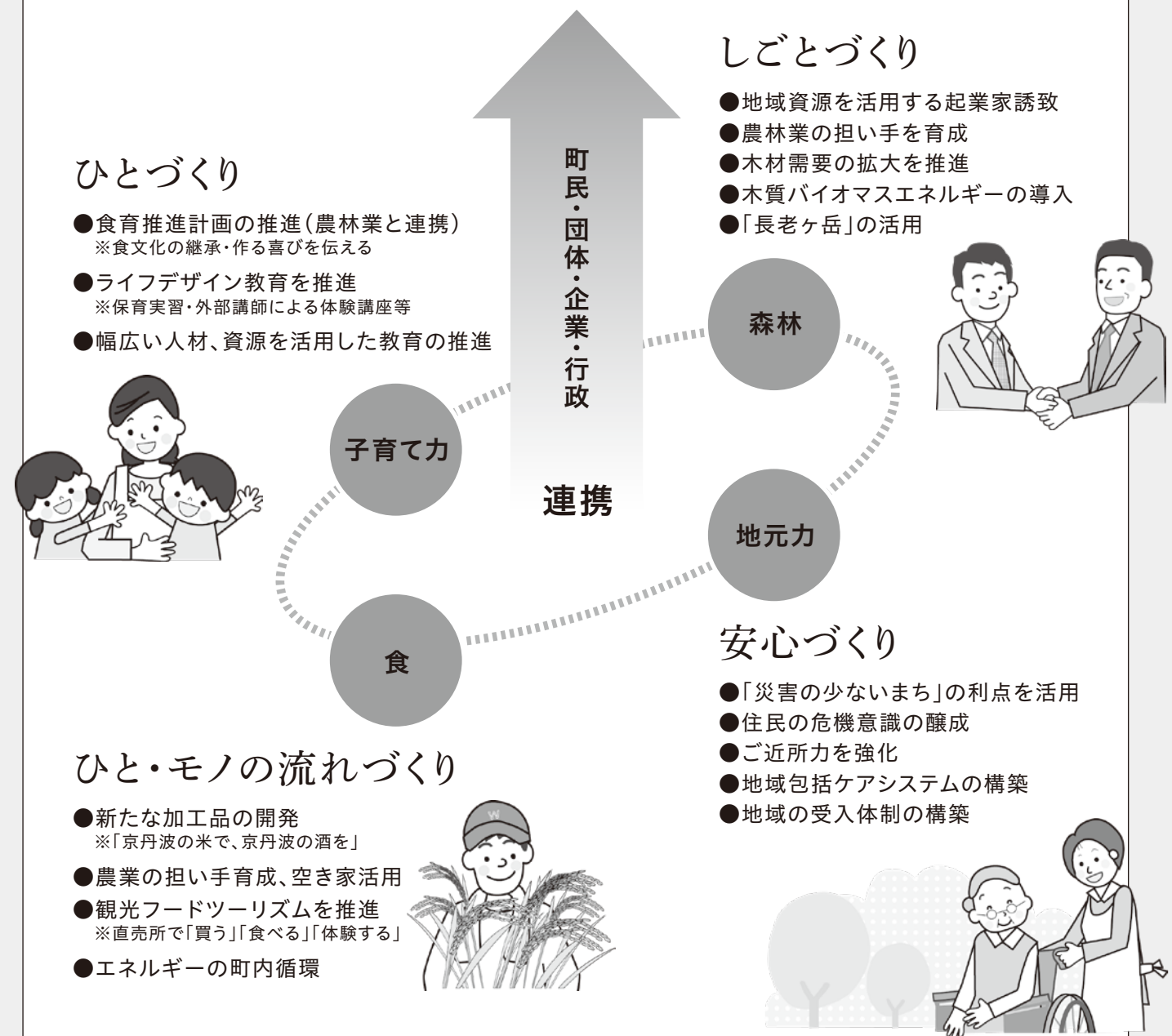
子育てを みんなではぐくむ 地域の輪



京丹波町の生活文化や独自の魅力を生かして、子どもたちに多くの出会いと体験の機会を提供し、その中で、子どもたちの思いにふれ、「かわり愛(あい)」、かまい愛(あい)、つながり愛(あい)“ながら、親や地域の大人たちもたくさんのおおききを受けることができます。こうした取り組みを重ね、子どもたちの育ちがまちの活力となることをめざします。住民をはじめ、団体、事業者、行政などが連携し、協働することで、子どもと大人がふれあい、楽しみながら成長していくよう、取り組みを進めていきます。

●自給自足的循環社会のイメージ

日本のふるさと
自給自足的循環社会●京丹波



第2期京丹波町創生戦略で目指す姿

健康の里づくりをテーマに、町民の皆さま、町の経済、町の財政を健康にすることで、ヒト・モノ・カネの循環を高め、町の元気を創出するとともに、人口の減少対策も行いながら、助け合いと活力ある地域づくりを進め、人口減少社会においても持続可能で、豊かな暮らし「自給自足的循環社会●京丹波」の実現をめざします。

基本理念の実現のための、三つの基本目標

基本目標 1

子育てのできる環境づくり ～かかわり愛(合い)～

すべての子どもの健やかな成長の実現に向け、妊娠・出産期から切れ目なく“かかわり愛(合い)”, 支援するとともに、子育てや子どもの心身の健康に関する相談や情報提供に柔軟に対応できる体制づくりを進めます。

さらに、子どもは基本的人権を有する社会の一員として認識されるべきであり、子どもとしての権利を保障し、子どもたちが家庭、学校、地域の中で豊かな人間性をはぐくみ、子どもたちが可能性を最大限発揮して育つこと、子育てができる環境づくりを推進します。

実施施策

子どもの健やかな
成長のための環境づくり

- 子どもや母親の健康の確保
- 食育の推進
- 小児医療の充実

子どもの豊かな人間性を
はぐくむ環境づくり

- 未来の親の育成
- 子どものこころをはぐくむ教育の充実
- 思春期保健対策の充実
- 子どもの健全育成の推進
- 学校・家庭・地域社会の連携



ベビーマッサージ教室

基本目標 2

子育て・親育ちのできる体制づくり ～かまい愛(合い)～

すべての子育て家庭に対して、地域におけるさまざまな子育て支援サービスを充実するとともに、そのサービスが身近で利用しやすく、より有効的なものとなるようネットワークづくりを推進します。また、子育てに悩みや不安を感じている保護者が安心して子育てをすることができるよう、保健・医療・福祉・教育など子育て支援にかかわる機関の連携を強化し、身近な地域で“かまい愛(合い)”, 適切な相談や情報提供ができるなど、親自身が子育てに自信をもち、子育てを楽しんでいることができる親育ちの支援・充実を図ります。

さらに、家族全体で子どもを生み育てていく意識と自覚を高め、誰もが安心して子育てできる、家族の愛情にあふれた、ゆとりある家庭環境づくりを推進します。

実施施策

安心して楽しい
子育て支援体制づくり

- 幼児期の教育・保育および多様な子育て支援サービスの充実
- 子育て支援のネットワークづくり
- 子どもに関する専門的な支援の充実

「保育所利用料等第3子以降無償化事業」
・多子世帯の経済的負担を軽減するため、第3子以降の保育所などに係る保育所利用料および給食費の無償化を継続実施します。

子育てと仕事の調和の
実現に向けた体制づくり

- 子育てと仕事を両立するための意識啓発
- 働きやすい環境づくり



登下校の見守り

基本目標 3

みんなでつながり子どもをはぐくむ郷づくり ～つながり愛(合い)～

子どもを生み、子育て家庭の暮らしの場である地域には、互いが“つながり愛(合い)”, 子育てを温かく支える地域の絆・支え合いの文化が維持されています。

地域の人々が主体的に子育て支援の活動に参加し、その力を最大限に発揮できるよう“地域”と“行政”とが協働し、地域全体で子どもを見守りはぐくむ仕組みづくりなど、“地域総がかりで子育てを支援する”環境づくりを促進します。

実施施策

子どもが安心・安全に
育つ地域づくり

- 安心・安全な環境の整備

子どもをはぐくむ
地域・コミュニティづくり

- 地域で子どもをはぐくむ意識の醸成
- 子育てを支える地域活動の推進



ぬく森のイス組み立て

■京都大学医学部付属病院派遣
村上永里子

健康管理センター

こども未来課 **☎82-1394**
子育て支援・保育所など／認定こども園の設計・建築など

【課長】木南哲也
【課長補佐】樹山敬子
【子育て支援係長】四方妃佐子
【主任】石原詩子
【作業療法士】長野まい
山本竣也
■こども園整備室
【室長】田中晋雄
【主任】大秦 学

**保健福祉課
丹波地域保健福祉係**
☎82-1800
丹波地域の健康増進、福祉および介護保険など
(詳細は保健福祉課を参照)

【課長補佐】山内智美
【係長】(山内智美)
【主任】原田結城

畑川浄水場

上下水道課 **☎83-9105**
上水道、簡易水道など／公共下水道、集落排水、合併処理浄化槽など

【課長】山内善博
【課長補佐】岩崎勝也・竹内 健・小松聖人
【上水道係長】秋山卓弘
【上水道係主任】四方晴美
【下水道係長】荻野雅則
【下水道係主任】小原直也
吉田和晃・山西博美・林 龍之介

瑞穂支所

瑞穂支所 代表**☎86-0150**
総務一般、戸籍住民一般、税務一般、土木一般、農林一般、商工観光一般など

【支所長】上林太志
【支所長補佐】野村雅浩
【主任】橋本賢二・軽尾圭造
塩田 誠・豊嶋裕美・今川奈未・小崎亮太

京丹波町情報センター

企画財政課情報推進室
☎88-5000
情報化、情報化施策の企画推進、情報センターの管理など

【室長】保田利和
【係長】田畑昭彦
【主任】西村公貴
野口雄祐・坂本憲吾・徳島 詢・上田さくら・西端優介

国保京丹波町病院

医療政策課 **☎86-0220**
病院・診療所・介護療養型老人保健施設、総合医療政策、南丹病院組合など

【課長】中川 豊
【課長補佐】村山英紀
【医療係長】(村山英紀)

国保京丹波町病院
☎86-0220
外来診療、入院診療、居宅介護支援、訪問看護、訪問リハビリ、地域連携など

【院長】垣田秀治
【副院長】(庄林 智)
【事務局長】(中川 豊)
【看護部長】平田千春
【看護師長】石田由美子・小川和代
【外科部長】(庄林 智)
【事務局長補佐】(村山英紀)
【主任理学療法士】森本勝則
【主任診療放射線技師】山内敏行
【主任薬剤師】熊谷 明
【事務主任】藤井知宝・金江美和
【主任看護師(副師長)】西山由里・田路利恵
【主任看護師】大西正美・片山比佐子・齋藤世吏恵

【医師】吉岡賢一
【理学療法士】井爪直美・伊藤正幸・佐々木恭平
【管理栄養士】藤ノ井公代
【診療放射線技師】小西賢治
【看護師】山田加奈恵・上田ひとみ・大西好美・中村育美・谷掛郁代・谷口紀久恵・野村厚子・新宮さちよ・吉田恵理子・能勢真由美・山本真紀・猪田満枝・高屋里美・田中美由紀・梶本由美子・井尻友美・橋本樹里・山内英美・野間幾恵・四方若菜・八木莉那・山中博子(京都大学医学部付属病院から派遣)

【課長補佐】堀内浩二・山内敏史
【管理係長】堀 敬之
【土木係長】山下 徹
【建築係長】(堀内浩二)
岡本 淳・井上 芳・徳島一輝・忠田猛志・福田大樹・関 幸大

会計室 **☎82-3804**
出納、指定金融機関、資金、物品会計など

【会計管理者】十倉隆英
【室長】谷口玲子
【出納係長】上西貴幸
片山加奈

中央公民館

**教育委員会社会教育課
丹波分室** **☎82-0988**
丹波地域の社会教育、人権教育、社会体育、文化財、文化芸術、図書室など

山下 泰

瑞穂保健福祉センター

保健福祉課 **☎86-1800**
保健一般、健診、感染症予防その他疾病、保健指導など／福祉一般、救護養護、保護、高齢者福祉、障害者福祉、母子・児童福祉など／介護保険一般、介護保険給付、介護認定、介護保険料など

【課長】岡本美美
【課長補佐】西野菜保子・島田恵子・原澤 洋
【社会福祉係長】長谷川 真
【高齢福祉係長】西村明美
【包括支援センター主任】高屋敦彦・中川早苗

川勝千裕・山口紗也香・木上祐輔・湊 千穂・福井朋美(新規採用)
■健康推進室
【室長】永海貴子
【課長補佐】藤田むつみ
【係長】堀 道枝
【主任】保田智子・竹村 洋
【栄養士】上林小百合
【保健師】保ヶ部直子・蓮見純子・三田杏奈・飯尾早紀(新規採用)・栗原天音(新規採用)
【管理栄養士】太田梨保(新規採用)

農林振興課 **☎82-3808**
経済、農業、林業、畜産業など／農林業施設、農道、ため池、かんがい排水、林道、治山、農林災害復旧など／地域資源の循環利用など

【課長】大西義弘
【課長補佐】宇野浩史・片山 健・井上晴之
【農林振興係長】山本桂市
【農林振興係主任】十倉克也
【農林事業係長】(井上晴之)
【地域資源活用推進係長】吉田 聡
多田衣里・高見謙佑・海老瀬隆文

農業委員会事務局
☎82-3822
農業委員会業務

【事務局長】永武幸子
【主任】久保元真一

にぎわい創生課
☎82-3809

商工業、観光、鉱業、労働行政など／企業の立地推進など／地域づくり、住民自治、交流事業など／移住・定住など／交通一般、町営バスなど

【課長】栗林英治
【課長補佐】山下 稔
【移住定住推進係長】山内圭司
【地域振興係長】井口理恵
【交通対策係長】小山 潤
一瀬紳司・今川崇仁・桐村和典(新規採用)
■商工観光室
【室長】堀 友輔
【商工観光係長】(堀 友輔)
【企業立地推進係長】(山下 稔)
■京都府政策企画部企画参事派遣
森田 亮
■森の京都地域振興社派遣
(再任用職員) 伴田邦雄

土木建築課 **☎82-3806**
土木管理、建設、用地買収、国土利用計画、都市計画など／土木一般、道路・橋りょう、土木災害復旧など／建築、町営住宅など／ダム周辺整備、公園緑地、河川・砂防など

【課長】山内和浩

職員の配置

4月1日付け人事異動による職員の配置は次のとおりです。

***会計年度任用職員を除く** ***敬称略** ***電話番号の市外局番は[0771]**

■危機管理室

【室長】原澤 恒
【主任】山内秀文
村山裕信
■新庁舎建設室
【室長】(長澤 誠)
【主任】中村昭夫

税務課 **☎82-3802**
税務一般、住民税、固定資産税、軽自動車税(種別割)、たばこ税、特別土地保有税など／納税、滞納整理など

【課長】豊嶋浩史
【課長補佐】徳島康善
大西孝治
【賦課係長】石田武史
【徴収係長】芦谷真由美
千田 司・上西めぐみ
■地方税機構派遣
野々口慶司・野口尊正・松浦由香

住民課 **☎82-3803**
住民、戸籍、住民基本台帳、印鑑登録、公的個人認証、災害救助、行旅死病人、児童手当など／国民健康保険、後期高齢者医療、福祉医療、国民年金など／環境衛生、船井郡衛生管理組合、環境保全、埋火葬墓地など／人権一般、住民相談、消費生活など

【課長】久木寿一
【課長補佐】島 文子
梅原千里
北村和正
【戸籍住民係長】(島 文子)
【保険年金係長】上原康宏
【保険年金係主任】福本ふみ子
【環境推進係長】西山直人
【人権推進係長】(梅原千里)
小池由加里・坂本美佳子・桐村杏菜・松村雄大・正田志帆・木上美由紀・上田佳菜江

京丹波町役場本庁
☎82-0200(代表)

【参事】中尾達也(総務福祉担当)
山森英二(事業担当)

議会事務局 **☎82-3805**
調査研究、渉外、定例会、・臨時会、委員会など／議会一般、議案、監査委員など

【事務局長】藤田正則
【庶務係長】山口知哉
山本美子

企画財政課 **☎82-3801**
企画、陳情・請願など／広報、広聴、統計、町政要望など／財務一般、予算・決算、起債など／町有財産の管理など

【課長】松山征義
【課長補佐】山内明宏
【財政係長】(山内明宏)
【企画広報係長】下村邦喜
【財産管理係長】正田智久
伴田裕章・井上慎也・瀬戸亜弓

総務課 **☎82-3800**
総務一般、法規、行政運営、選挙(選挙管理委員会)、公用車運行管理など／人事、秘書、任免、給与、研修、福利厚生、職員団体など／工事、物品などの入札・契約・検査・指導など／消防・防災、防犯、住民安全、交通安全／新庁舎の設計・建築など

【課長】長澤 誠
【課長補佐】堀 孝子
山内善史
【総務係長】(山内善史)
【人事秘書係長】松下由美
【契約検査係長】小林篤史
奥田康平・山口菜央・辻 裕・小畑詩織・川邊有希乃

Dr's Message

いきいき健康術

第152回

町立病院・診療所の医師や専門職員が
健康情報をお届けします。

『訪問看護のことご存じですか?』

野間 幾恵 訪問看護担当 地域連携室 国保京丹波町病院



国保京丹波町病院には院内に訪問看護事業所があり、3人の訪問看護師が訪問看護に携わっています。

例えばこのようなことでお悩みではありませんか?



- 早く退院して家に帰りたいけど病気のことが心配・・・
- 病院から退院と言われたけれど、家族での介護や処置に自信がない・・・
- 薬が多くてよく飲み忘れる・・・など

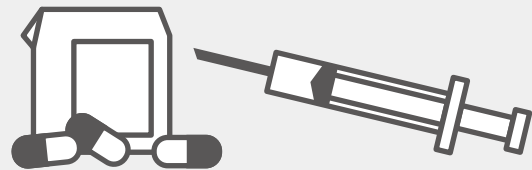
訪問看護では主治医の先生の指示に沿って自宅での療養生活サポートできます。



町立医療施設の敷地内は全面禁煙です。ご理解とご協力をお願いします。 京丹波町病院 電話 0771-86-0220

訪問看護の主なお仕事

- 血圧、脈拍、体温、酸素濃度などの測定
- 病状・障害など、全身状態の観察
- 床ずれの処置や観察
- お薬の服薬確認
- 自宅での注射の管理
- 尿道カテーテルなど、カテーテルの管理
- 体を清潔にするための介助（入浴できない方の清拭、洗髪など）
- 食事量のチェック
- 排泄コントロール管理 など



国保京丹波町病院の訪問看護は介護保険でも医療保険でも利用できます。

ただし、利用するには、国保京丹波町病院を受診し、先生が出す指示書が必要になりますので、注意してください。

医療、介護についての相談をはじめ、訪問看護についての相談も病院内の地域連携室で受けています。地域の皆さまの療養生活が少しでも快適に過ごせるよう、お手伝いします。

(任期付職員)山内美香・藤原いづみ・山下敏代

わちエンジェル ☎84-1920

乳幼児保育、子育て支援センターなど

【所長】真野照美
【所長補佐】下村秀美
【主任】(下村秀美)
【保育士】梅原彰子・山内 咲・岡本春成・井上暁美・三宅真理(新規採用)
【管理栄養士】野口朝美(任期付職員)黒川生子

須知幼稚園 ☎82-0151

乳幼児保育、子育て支援センターなど

【園長】津田知美
【教頭】湊 玲奈
【主任】小林和子
【教諭】大秦優子・池田直未
【養護教諭】越浦宏美(再任用職員)榎川 諭(任期付職員)小谷千晴

小中学校

学校用務など

【蒲生野中学校】和田 隆

給食センター

町内小・中学校の給食調理など

【丹波学校給食センター所長】小谷誠之
【瑞穂学校給食センター所長】(小谷誠之)
【和知学校給食センター所長】(小谷誠之)
【主任】小林富美子

退職職員

3月31日付、敬称略。()は前職

山田洋之(参事(事業担当))
東 直美(上豊田保育所長)
山根美智代(教育委員会社会教育課長)
井上祐子(保健福祉課課長補佐)
保田志信(農林振興課課長補佐)
石田美穂(瑞穂支所支所長補佐)
野間 隆(和知支所主任)
加藤亜希子(上豊田保育所保育士)
谷 麻美(上豊田保育所保育士)
伊東拓馬(上下水道課主事)

【所長】庄林 智
【事務長】山田和志
【看護師長】林 真紀
【主任理学療法士】大田有次
【事務主任】原澤美和
【主任看護師】伏原幸子
【ケアマネジャー】(安藝俊郎)
【診療放射線技師】津村泰宏
【看護師】白波瀬小百合・小寺恵美・竹内美弥・稲元左希子・渡邊まさみ
■介護療養型老人保健施設
【施設長】(庄林 智)
【事務長】(山田和志)
【看護師長】(林 真紀)
【主任理学療法士】(大田有次)
【事務主任】(原澤美和)
【主任看護師】(伏原幸子)
【ケアマネジャー】安藝俊郎
【診療放射線技師】(津村泰宏)
【看護師】(白波瀬小百合)・(小寺恵美)・(竹内美弥)・(稲元左希子)・(渡邊まさみ)

和知歯科診療所

和知歯科診療所 ☎84-1154

外来診療、訪問診療など

【所長】三浦博人
【事務長】(山田和志)
【事務長補佐】山口秀子
【主任歯科衛生士】片山昭子
【歯科医師】濱岡秀樹

学校・保育園など

上豊田保育所 ☎82-2056

乳幼児保育、子育て支援センターなど

【所長】北村恵里子
【所長補佐】山内里佳子
【主任】久保元恵子
【保育士】野口加代里・中西靖浩・永井 希・田畑美穂・森 亜希子(新規採用)
(任期付職員)松澤亜津子・北村由紀

みずほ保育所 ☎86-0574

乳幼児保育、子育て支援センターなど

【所長】浦井美紀
【所長補佐】細見ルミ
【主任】小室由紀
【保育士】森こず枝・蒲生沙奈美・兵田尚美・中野美和子・三嶋夏波
【管理栄養士】石川果歩(新規採用)
【養護教諭】小西愛紀

教育委員会社会教育課 瑞穂分室 ☎86-1150

瑞穂地域の社会教育、人権教育、社会体育、文化財、文化芸術、図書など

(村田弘之)

和知支所

和知支所 代表☎84-0200

総務一般、戸籍住民一般、税務一般、土木一般、農林一般、商工観光一般など

【支所長】藤井雅文
【支所長補佐】木下浩昭
【主任】村山奈央・出野文隆
松谷洋二・友金輝幸・大森しおり・藤田健吾

保健福祉課和知地域保健福祉係 ☎84-0049

和知地域の健康増進、福祉および介護保険など(詳細は保健福祉課を参照)

【課長補佐】光枝三千代
【係長】(光枝三千代)
片山 哲

教育委員会 (和知支所内)

教育委員会 ☎84-0028

教育一般、教育施設、教職員人事、幼稚園、情報教育、放課後児童健全育成など／学校教育、学校保健など／社会教育、人権教育、社会体育など／文化財、文化芸術、図書など

【教育次長】堂本光浩

■学校教育課

【課長】中井伸幸
【課長補佐】吉田敦美
【総務係長】(吉田敦美)
【総務係主任】水間和美
【学校教育係長】並河直樹
細野江梨子・井上和宏

■社会教育課

【課長】中野竜二
【課長補佐】村田弘之
【社会教育係長】(村田弘之)
【文化スポーツ係長】西山宏明
隅田和樹・藤山明子・山内 仁

和知診療所

和知診療所(介護療養型老人保健施設) ☎84-1112

外来診療、訪問看護、訪問リハビリなど／長期入所、短期入所など

令和元年京丹波町 スポーツ賞・文化賞

「スポーツ賞14個人5団体 文化賞5個人4団体が栄える受賞」

京丹波町スポーツ賞・文化賞は、昨年1月1日から12月31日までの間に、国内外のコンクールや競技会、大会などで優秀な成績を収められた個人や団体に贈られます。また、まちの文化芸術・スポーツ振興に貢献された個人や団体にも贈られます。受賞された皆さまの今後ますますのご活躍を期待します。

受賞された個人・団体は次の通りです。

京丹波町スポーツ賞

●特別荣誉賞

〔個人〕

吉尾 裕子(京丹波町カヌー協会)
平成5年に「和知ジュニアカヌークラブ」を設立された。平成29年に「京丹波町カヌー協会」の設立に尽力され、カヌーの普及、指導者の育成や競技力向上に長年貢献された。

野村 優(京都先端科学大学)

第72回ジャパンクラシック
パワーリフティング選手権大会
一般女子72kg級 優勝
田淵 星奈(京丹波町立瑞穂中学校)
ジュニアユース(U-15)ホッケー女子
日本代表選出
オーストラリア F H E C U P
優勝

第49回 全日本中学生ホッケー選手権大会 優秀選手

西野 陽(京都府立須知高等学校)

第74回国民体育大会ホッケー競技少年女子 優勝

山下 天海(京都府立須知高等学校)

第74回国民体育大会ホッケー競技少年女子 優勝

第51回全国高等学校選抜ホッケー大会 優秀選手

山内 夢(京都府立須知高等学校)

第74回国民体育大会ホッケー競技少年女子 優勝

●功労賞

船越 かな江(京都府ゲートボール連合京丹波支部丹波ブロック)
京都府ゲートボール連合京丹波支部丹波ブロック所属。昨年に2級審判員資格を取得され、会員の先頭に立ち、町内のゲートボール競技の普及・振興及び発展に貢献された。

判員資格を取得され、会員の先頭に立ち、町内のゲートボール競技の普及・振興及び発展に貢献された。

●優秀賞

〔個人〕

西田 響生(和知ジュニアカヌークラブ)

令和元年度全国中学生カヌー大会
カヌースラローム男子150m
第3位

片山 友花(京都府立綾部高等学校)

令和元年度全国高等学校総合体育大会カヌー競技

W C 1 500m 第8位

令和元年度近畿高等学校カヌー新人選手権大会

W C 1 500m 優勝

藤田 太樹(京都府立丹波支援学校)

京都障害者フライングディスク競技大会2019

デイスタンス競技 優勝

橘 夏実(京丹波町カヌー協会)

令和元年度全国少年少女カヌー大会
女子カヤックペア 第3位

湊 綾夏(京都府立園部高等学校)

令和元年度京都府高等学校総合体育大会ライフル射撃の部

B R 60 W J (ビームライフル女子60発競技) 第1位

谷口 莉央(京都府立園部高等学校)

令和元年度京都府高等学校総合体育大会ライフル射撃の部

B P 60 J (ビームピストル男子60発競技) 第1位

〔団体〕

京都府立須知高等学校女子ホッケー部
第51回全国高等学校選抜ホッケー大会ベスト8

京丹波町立蒲生野中学校男子ホッケー部

第72回京都府中学校総合体育大会ホッケー競技 優勝

F O R C E S 京丹波町軟式野球連盟

第41回西日本軟式野球(2部)(燃ゆる感動かごしま国体軟式野球競技リハーサル大会) 準優勝

第41回西日本軟式野球(2部)京都府大会 優勝

京丹波町瑞穂チーム(京丹波町グラウンド・ゴルフ協会)

第32回全国健康福祉祭(ねんりんピック)京都府予選 優勝

●輝き賞

〔個人〕

鳥淵 一彩(京都府立園部高等学校)
令和元年度京都府高等学校総合体育大会ライフル射撃の部
A R 60 W J (エアライフル女子60発競技) 第2位

〔団体〕

京丹波町立瑞穂中学校女子ホッケー部
第68回近畿中学校総合体育大会ホッケー競技 第3位
第72回京都府中学校総合体育大会ホッケー競技 準優勝

京丹波町文化賞

●文化賞

〔団体〕

京都府立須知高等学校食品科学科
園芸加工専攻

第36回日本菊花全国大会

三本たて花壇の部 「内閣府特命担当大臣・男女共同参画賞」受賞

福助花壇の部「衆議院議員賞」受賞

●文化功労賞

〔個人〕

堀 勇(和知人形浄瑠璃会)

平成12年2月に和知人形浄瑠璃会に入会し、伝統芸能の発展・継承に努めるとともに、小・中学校の児童・生徒に指導し、現在に至る。

●輝き賞

〔個人〕

榎木 有佳(和知中学校)

鍵1グランプリ2019
自転車鍵かけコンテスト(中学生の部)「最優秀賞」受賞

小野 そら(蒲生野中学校)

第8回薬物乱用防止啓発ポスター展「京都府教育委員会教育長賞」受賞

山田 達也(瑞穂中学校)

読売新聞社主催 第69回全国小・中学生作文コンクール「佳作」受賞

山下 愛佳(瑞穂中学校)

令和元年度 京都府統計グラフコンクール

パソコン統計グラフの部「佳作」受賞

〔団体〕

京丹波町立瑞穂小学校 3年生

第4回京都府食のみらい宣言・実践活動

「食のみらい京都府町村会長賞」受賞

京都府立須知高等学校

「オール・京丹波」班

西野 陽・西垣 真奈(ペア)

日本政策金融公庫主催第7回高校生ビジネスプラン・グランプリベスト100に選出

京都府立須知高等学校農業クラブ

令和元年度第70回京都府学校農業クラブ連盟大会 プロジェクト発表の部

分野Ⅱ類 開発・保全・創造「優秀賞」受賞

京都府学校農業クラブ連盟主宰

「緑の学園」
畜産部門「優秀賞」受賞(2名)



令和元年度 京丹波町スポーツ推進表彰

第1位

実勢区

第2位

須知区

第3位

蒲生区

令和元年度京丹波町スポーツ推進表彰順位(上位10位)

順位	区名	合計点	順位	区名	合計点
1位	実勢	169点	5位	水原	76点
2位	須知	152点	6位	院内・幸野・森	59点
3位	蒲生	124点	9位	中村	52点
4位	曾根	79点	10位	橋爪	51点

【令和2年度における地域対抗指定大会(予定)】

- ① 第15回 京丹波町グラウンド・ゴルフ大会 6月14日(日)
- ② 第15回 京丹波町ボウリング大会 8月21日(金)
- ③ 第15回 京丹波町ソフトボール大会 8月30日(日)
- ④ 第15回 京丹波町ソフトバレーボール大会 9月 6日(日)
- ⑤ 第15回 京丹波町ゲートボール大会 10月18日(日)
- ⑥ 第16回 京丹波町駅伝競走大会 12月13日(日)
- ⑦ 第15回 京丹波町卓球大会 1月17日(日)

※現時点での計画であり、今後変更の可能性があります。大会開催前には、新聞折込・告知放送などでご案内します。

京丹波町では、町民の皆さまがスポーツを通して、健康の増進や体力向上を図り、互いに交流と地域のつながりを深めるために、町スポーツ大会を地域対抗形式で実施しています。スポーツ推進表彰では、京丹波町スポーツ協会が主催する下記の大会に行政区を単位として出場された場合にその成績に応じて点数を付与します。また、行政区が主体的にスポーツイベントなどを実施された場合においても点数を付与し、その合計点数により順位を競い、上位入賞者を表彰します。

令和2年度においても引き続き町民の生きがいづくりや健康の増進、体力向上のため各行政区でスポーツイベントの開催や、スポーツ大会への積極的なご参加をお願いします。

新型コロナウイルス感染症について

新型コロナウイルス感染症の予防のため、せきエチケットやこまめな手洗い、普段の健康管理などの感染症対策に努めていただきますようお願いいたします。

また、新型コロナウイルスの集団発生の防止について以下のことに注意してしてください。

3つの「密」を避けましょう！

1

換気の悪い
密閉空間



2

多数が集まる
密集場所

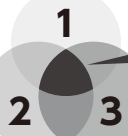


3

間近で会話や発声する
密接場面



新型コロナウイルスへの対策として、クラスター(集団)の発生を防止することが重要です。日頃の生活の中で三つの「密」が重ならないよう工夫しましょう。



三つの条件がそろう場所が
クラスター(集団)発生の
リスクが高い！

※三つの条件のほか、**共同で使う物品には消毒**などを行ってください。

新型コロナウイルス感染症に関して相談窓口が開設されていますので、心配な症状などについては相談してください。

相談 窓口	京都府新型コロナウイルス感染症専用相談窓口〔帰国者・接触者相談センター〕 電話番号：平日・土・日・祝日 075-414-4726(24時間対応)
	京都府南丹保健所 受付時間：平日の午前8時30分から午後5時15分 電話番号：0771-62-2979
	厚生労働省電話相談窓口 受付時間：平日、土・日・祝日の午前9時00分から午後9時00分 電話番号：03-3595-2285

編集後記

令和2年度も引き続き、広報担当としてお世話になることになりました。
今年度もよろしくお願いします。 HB

わたしたちの町

人口 13,789(－77)
男 6,560(－43)
女 7,229(－34)
世帯数 6,241(－17)
4月1日現在／()は前月比



訂正とお詫び

広報京丹波3月号の15ページ「林大卒業研究成果報告会」中段6行目において誤りがありましたので訂正し、お詫び申し上げます。

誤 「モザイクジェンガ」

正 「ぎょうたんぱつみき」

ふるさと応援寄付金のお礼

※敬称略

株式会社 京都環境保全公社
100万円
片山 山治 10万円
野田 園子 3万円
出野 伸二 1万2千円

※掲載内容は寄付者の了解を得ています



お茶の間

「こんにちは赤ちゃん」
コーナー
申し込み募集

〈対象者〉

町内在住で、申し込み時に生後1歳未満のお子さま〈申込方法〉お子さまの顔写真に申込書を添えて、役場または支所まで、持参・郵送・メールのいずれかで届けてください。申込書は役場本庁、支所、瑞穂保健福祉センターにあります。

【問】

京丹波町企画財政課
電話 0771-82-3801
Eメール
kikaku30@town.kyotamba.lg.jp



図書室がおすすめする
こんなときの、
この一冊

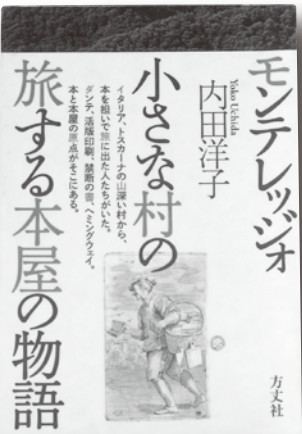
モンテレージョという村をご存じですか？

イタリアのトスカーナ州の山村で、現在の人口約30人、あるものは石と野生のクリの木だけという、貧しいこの村は、200年も前から本の行商を生業

としていました。

なぜ本を？なぜこんな山奥で？好奇心が赴くままに、著者は旅に出ます。本作品に登場するたくさんの美しい写真が、イタリアの空気まで感じさせてくれます。著者とともに、本をめぐる謎解きの旅に出ましょう。

ゆ あ さ ま ゆ み
(中央公民館図書室 湯浅真弓)



図書室のご案内

開室日	開室日	日	月	火	水	木	金	土
中央公民館図書室 電話 0771-82-0988				9時～17時 ※11時30分～12時30分までの間、昼休み(閉室)となります。	9時～17時	9時～17時	9時～17時	9時～17時
桧山公民館(山村開発センター)図書室 電話 0771-88-0506			14時～17時		14時～17時	14時～17時	14時～17時	第2、第4土 13時～17時
梅田公民館(旧梅田保育所)図書室				第1、第3火 9時～13時				第1、第3土 9時～13時
三ノ宮公民館(三ノ宮基幹集落センター)図書室				第2、第4火 13時～17時				第2、第4土 13時～17時
質美公民館(質美振興センター)図書室				第2、第4火 13時30分～17時30分				第2、第4土 13時～17時
和知公民館(和知ふれあいセンター)図書室 電話 0771-84-2081				9時～17時 ※11時30分～12時30分までの間、昼休み(閉室)となります。	9時～17時	9時～17時	9時～17時	9時～17時

貸出期間 2週間 貸出冊数 1人1回5冊まで



蒲生野中学校



みずほ保育所



和知小学校

思い出を胸に新たな道へ 卒業式・卒園式

町立中学校の卒業証書授与式が3月13日、各校で行われ、計99人（蒲生野51人、瑞穂32人、和知16人）が卒業しました。卒業証書を手し、それぞれの思い出の校舎に別れを告げました。卒業式は、新型コロナウイルスの影響で、在校生は生徒会役員など代表者のみの参加とし、椅子の間隔を1m以上離すなど工夫をして行われました。

蒲生中学校では、卒業生代表の梶本瑛太^{かじもとえいた}さんが学校生活を振り返り、恩師や保護者、地域の方に感謝し、「新型コロナウイルスの影響で卒業までの2週間という大切な時間を仲間と過ごすことができなかった。当たり前の日常が幸せだったと気づかされました。私たちはこれからは別々の道を歩みますが、夢に向かってためまぬ努力をしていきます」と答辞を述べました。

23日には、町立小学校の卒業証書授与式が各校で行われ、計90人（竹野5人、丹波ひかり36人、下山9人、みずほ28人、和知12人）が小学校の義務教育の課程を修了したほか、19日には須知幼稚園で15人、26日には3つの保育所で計60人が、小学校入学に向け巣立ちました。